

Vol.163「学生時代のクラブ・部活動の取り組み」

夏休みの一大イベントで、全国中学校体育大会、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）、全国高等学校総合文化祭、全国高校野球選手権大会などがあります。日頃、学生の打ち込んできたクラブ・部活動の成果発表は大人が見ても気持ちが高まり感動します。では、学生時代にどのようなクラブ・部活動をしていたのでしょうか？今回は全国の10～60代の男女に、学生時代のクラブ・部活動の参加状況や、今振り返ってどのように思うか調査しました。



調査概要

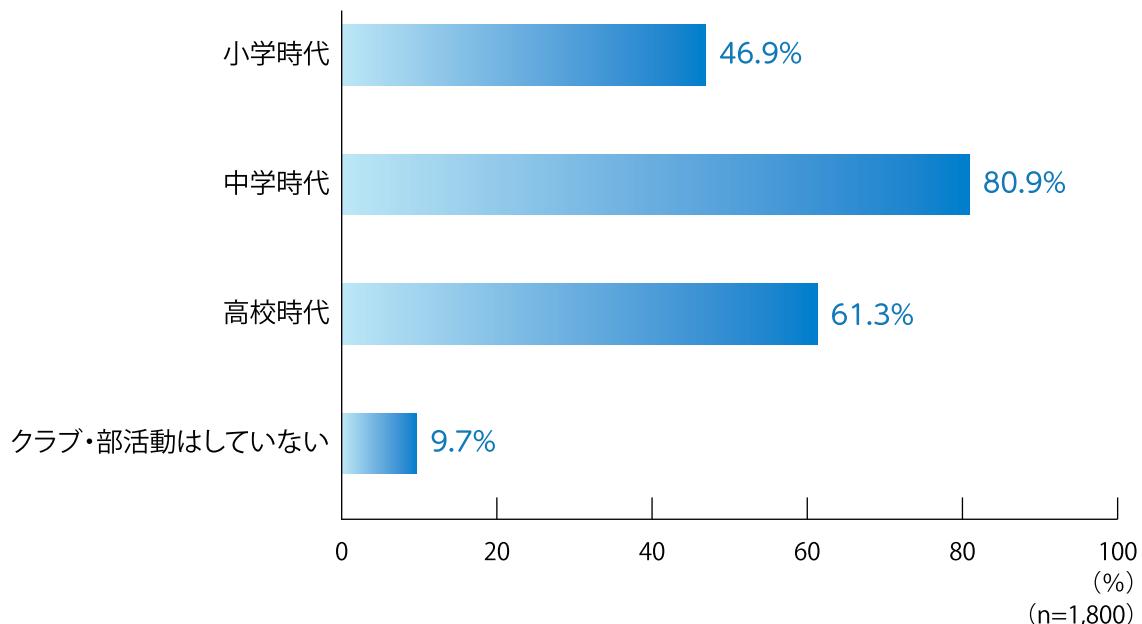
調査対象：全国の10～60代の男女 1,800人

調査方法：インターネットリサーチ

実施時期：2019年7月

Q 1. 学生時代のクラブ・部活動の参加状況

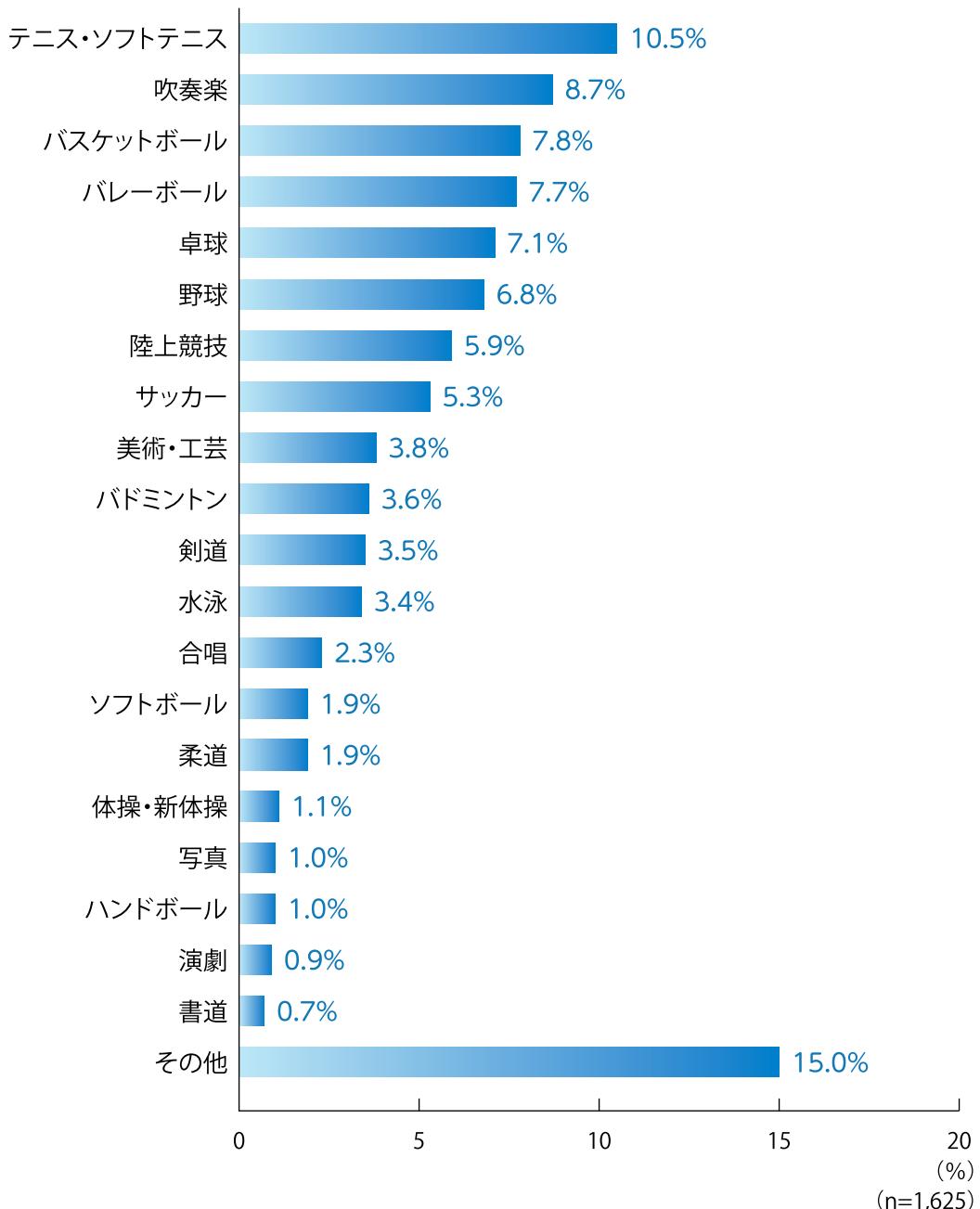
学生時代のクラブ・部活動の参加状況は、中学校の頃が最も多く「中学時代」(80.9%)でした。次に、「高校時代」(61.3%)、「小学時代」(46.9%)という状況で、「クラブ・部活動はしていない」(9.7%)という回答は約1割という結果でした。



【図1】 あなたは学生時代（小学生～高校生）に、クラブ・部活動はしていましたか。（複数回答）

Q 2. 学生時代に参加していたクラブ・部活動

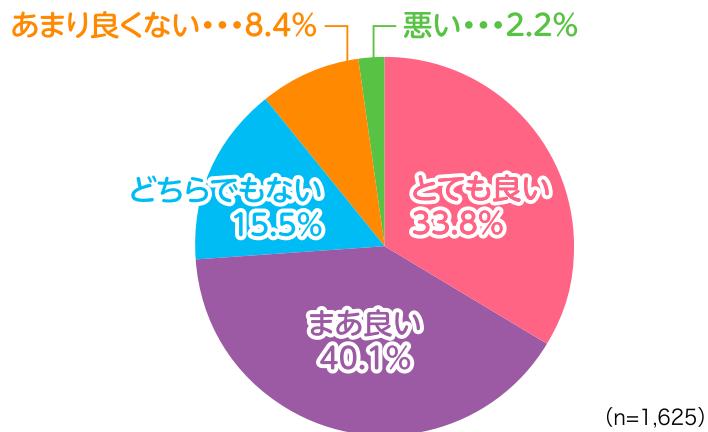
学生時代(小学生～高校生)に参加していたクラブ・部活動は、「テニス・ソフトテニス」(10.5%)、「吹奏楽」(8.7%)、「バスケットボール」(7.8%)、「バレーボール」(7.7%)、「卓球」(7.1%)、「野球」(6.8%)の順で多いという状況でした。また、「その他」(15.0%)では、英会話、将棋、天文、陶芸、アーチェリー、ゴルフなどがありました。



【図2】 あなたが学生時代にしていた主なクラブ・部活動は何ですか。
※複数していた場合は主に取り組んでいたクラブ・部活動を1つお答えください。(単数回答)

Q 3. 学生時代に参加していたクラブ・部活動の評価

学生時代についていたクラブ・部活動について、今振り返ってどのように思うかを尋ねたところ、「とても良い」(33.8%)、「まあ良い」(40.1%)をあわせると7割以上が良かったと思っています。その理由としては、「楽しかった」、「友達、仲間が増えた」、「チームで努力することを学んだ」、「基礎体力がついた」、「コミュニケーション能力が身についた」、「今でもいい思い出」などの声がありました。



【図3】 あなたは学生時代にしていたクラブ・部活動について、今振り返ってどのように思われますか。
※複数していた場合は主に取り組んでいたクラブ・部活動についてお答えください。(単数回答)

まとめ

2020年夏には日本でオリンピック・パラリンピックが開催されることから、スポーツへの関心が高まっています。学校のクラブ・部活動の経験を通じて、世界で活躍するプロ選手になったり、文化芸術の第一人者として活躍したり、また、コミュニケーション能力など社会人としても役立つ基礎づくりにも貢献しているようです。

今回は全国の10～60代の男女を対象に学生時代のクラブ・部活動の参加状況を尋ねたところ、「中学時代」(80.9%)、「高校時代」(61.3%)、「小学時代」(46.9%)という状況で、中学生の頃は約8割がクラブ・部活動に参加していたという結果でした。学生時代に参加していたクラブ・部活動は、「テニス・ソフトテニス」(10.5%)、「吹奏楽」(8.7%)、「バスケットボール」(7.8%)、「バレーボール」(7.7%)、「卓球」(7.1%)、「野球」(6.8%)の順で多く、学生時代にしていたクラブ・部活動については、友達や仲間が出来たことや、基礎体力やコミュニケーション能力が身についたことから、今振り返ってみて、7割以上がクラブ・部活動に参加して良かったと評価しています。

現在、生徒の意識・ライフスタイルの変化などから参加生徒の減少や、教員の多忙や指導者の不在などの課題もみられますが、学生時代にクラブ・部活動をしていて良かったという声の多さからも学生時代のクラブ・部活動の経験は貴重と言えます。

毎月最終
火曜日
更新

カンコーホームルーム ~学生を読み解くデータ集~

カンコーホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。
ホームページでは、今回紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

カンコーホームルーム 

<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>